

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：鹿児島県  
農業委員会名：宇検村農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

		農家数(戸)	
総農家数		209	
自給的農家数		171	
販売農家数		38	
	主業農家数	2	
	準主業農家数	6	
	副業的農家数	30	

※ 農林業センサスに基づいて記入。

		農業者数(人)	
農業就業者数		50	
	女性	22	
	40代以下	4	

※ 農林業センサスに基づいて記入。

		経営数(経営)	
認定農業者		13	
基本構想水準到達者		1	
認定新規就農者		0	
農業参入法人		0	
集落営農経営		0	
	特定農業団体	0	
	集落営農組織	0	

※農業委員会調べ

	田	畑	単位:ha			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	0	141	84.6	35.4	21	141
経営耕地面積	0	60.2	35.7	21.2	3.3	60.2
遊休農地面積	5.8	21	21	0	0	26.8
農地台帳面積	3	153	114	39	0	156

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入  
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 令和 4 年 7 月 1 9 日

	農業委員				
	定数	実数	定数	実数	地区数
農業委員数	8	8			
認定農業者	—	2			
認定農業者に準ずる者	—	1			
女性	—	1			
40代以下	—	0			
中立委員	—	1			

農地利用最適化推進委員	2	2	2
-------------	---	---	---

\*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	141ha	63.3ha	44.89%
課 題	全体的に不在地主等所有者不明の農地が多いことや、農業者の減少、高齢化、担い手等がいらないために、利用集積が進みにくい		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 65.3 ha (うち新規集積面積 2 ha)
	目標設定の考え方:直近数年間の集積実績面的の平均から設定
活動計画	・6月～9月…農地利用状況を調査し、担い手への利用集積が可能な農地を確定する ・9月～12月…円滑な権利移動ができるよう広報誌、リーフレット等を活用し、制度等の周知を図る。

- ※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入  
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入  
※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題	・新規就農者の確保が困難である。 ・農地の集積が進んでおらず取得した農地の場所が分散してしまう。		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)  
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	0.2ha
活動計画	総点検アンケート聞き取り調査時に新規参入者の掘り起こしを実施。 ・パンフレット・FMうけん等にて周知を図る		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入  
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	167.8ha	26. 8a	15.97%
課 題	利用状況調査の結果、不在地主等所有者不明農地が多いことや農業者の減少、高齢化により利用集積が進みにくい農地を貸す農家はいるが、借りる担い手がない		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		1. 0ha			
		目標設定の考え方:過去数年の利用状況調査に基づき設定			
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		10人		7月～10月	10月～11月
		調査方法	・周辺農地に及ぼす影響の強い地域から順次調査。不在地主、管理者等の把握		
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期	
		11月～12月		12月～1月	
	その他				

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
- ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
- ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	141ha	0ha
課 題	・引き続き違反転用が発生しないよう、年間通した農地パトロールを実施する。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	・定例総会後に農業委員、職員にて農地パトロールを年間を通して実施する。 ・年間を通した総点検アンケート聞き取り調査時に違反転用防止について呼びかける
------	---

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入